



## 謹賀新年



酉

明けましておめでとうございます。謹んで新春のお慶びを申し上げます。  
さくらのクリニック石田院長と、さくら野長江施設長より年頭のご挨拶を申し上げます。



さくらのクリニック  
院長 石田暁宏

平成29年、新年明けましておめでとうございます。  
昨年はトランプ新大統領の選出、イギリスのEU離脱、ヨーロッパでの右派勢力伸張など、世界のグローバル化に対する欧米諸国の不満が噴出した年となりました。日本も同様で、グローバル化により格差の拡大がみられ、とても住みにくい社会になったような気がします。40年くらい前の一億総中流の頃がとても、いい時代だったように感じられます。さらに日本の政策の方針として、農業を生活の糧として生きてゆくのが難しく会社に勤めなくてはならなくなり、どの会社も利潤追求でブラック企業化しており、さらに生活しにくい世の中になってきたと思われまます。一方、医療は着実に進化しており、この40年で大きく変化しました。特に医療技術の進歩はめざましいもので、その恩恵を被っている方は多いと思います。

カテーテルを用いた冠動脈形成術による心筋梗塞の治療、腹腔鏡を用いた腹部の癌の手術、白内障手術の眼内レンズなど枚挙に暇がありません。医薬品の開発もすさまじく、高血圧、高脂血症、糖尿病の薬をはじめインフルエンザの薬やC型肝炎を根治する抗ウイルス薬が開発され、治療の内容も大きく変わりました。人々の寿命は延び続けていますが、もちろん限界はあります。最近では遺伝子操作が研究として行われるようになりましたが、老化をコントロールする研究もされています。iPS細胞は再生医療と実用化されようとしています。細胞死が病態の心筋梗塞や脳梗塞、その他の変性疾患など治療の進歩が期待されます。現在、多くの人が死亡する原因は癌と血管疾患です。血管疾患は脳卒中と心筋梗塞ですが、ともに原因は動脈硬化です。成人病予防と長らく言われてきたのは、動脈硬化の予防ということです。カテーテル手術などの医療技術は進歩してきましたが、やはり病気にならないことが一番です。80歳を過ぎると特に脳梗塞は急激に増えてきますが、若い時から血圧とコレステロールと糖尿病に気をつけて、最後まで発症しないことが大切です。脳梗塞は寝たきりの原因になりますので、寝たきりにならないためには、最後まで脳梗塞にならないことが重要です。癌は一部のものを除いて予防することは困難です。しかし最近では、遺伝子操作で治療する段階に入りつつあります。この先10年、20年で大きく発展しそうな予感がします。いずれにせよ、世の中の変化と、医療の進歩が人々に幸せをもたらすこととなることを願うばかりです。



さくら野 施設長  
長江大介

初春のお慶びを謹んで申し上げます。  
今年は酉(鶏)年です。鶏は夜明けを告げ、その鳴き声で、闇夜を払い、光明に満ち溢れた世界に導くとあります。混迷なる世界に光が射す1年になることを祈念し、また、当さくら会も明るく温かく皆様に喜んでいただけますよう、鋭意努力して参ります。皆様にとってよき1年となりますよう、心からお祈り申し上げます。



今年も小山西高生によるクリスマスコンサートを開催しました。音楽部の皆さんの演奏に合わせて、JRC部の皆さんが手話を披露して下さいました。入所者の皆さんも、演奏に合わせて、楽しそうに手拍子をしていました。小山西高生の皆さん、素敵な演奏と手話をありがとうございました。



## 入所部門



さくら会唐沢事務長サンタより開会のごあいさつ



# クリスマス会を開催しました。



## 通所部門



サンタクロースとトナカイがプレゼントをお配りしました。

職員お手製のそりにプレゼント準備しました。

## 職員交流会を行いました。

1年の締めくくりとして、職員交流会を行いました。職員によるケーキの演奏や余興などで、楽しいひとときを過ごすことができました。



永続勤務者（20年4名・15年2名・10年1名）の表彰を行いました。この経験を地域の皆様のお役に立てるように、活かしていきたいと思ひます。



医療法人 さくら会

〒323-0061 栃木県小山市大字卒島244番地1

TEL:0285-37-1221 FAX:0285-37-1640

<http://www.sakura-ac.com>

施設利用に関するお問い合わせ : 0285-37-1110 担当 三村・戸澤

採用に関するお問い合わせ : 0285-37-1221 担当 唐沢

さくら会 携帯サイト

